

## 総量規制に係るばい煙発生施設使用届出書

〇〇年〇月〇日

川口市長 殿

届出者 川口市〇〇町1-1-1  
〇〇工業株式会社  
代表取締役 川口太郎

(電話番号 048-123-〇〇〇〇)

大気汚染防止法施行規則第7条の3に基づく総量規制基準（又は、大気汚染防止法第15条の2に基づく燃料規制基準）を遵守するために、工場・事業場全体のばい煙発生施設の使用について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工業(株) △△工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	川口市〇△町1-1-1	※受理年月日	
ばい煙発生施設の種類及びその種類ごとの数	別紙1のとおり	※特定工場の番号	
ばい煙発生施設の構造及びその使用方法	別紙2のとおり	※審査結果	
ばい煙に係る原燃料の種類及び使用量	別紙3のとおり	※備考	
連絡責任者	氏名	所属	電話番号
	△△ 〇〇	製造一課	048-987-〇〇〇〇

(注) ※印の欄には、記載しないこと。

ばい煙発生施設の種類及びその種類ごとの数

ばい煙発生施設の 番号	種 類	数	備 考
1	ボイラー	2	
1 1	乾燥炉	1	
			<p>予備施設</p> <p>休止施設</p>

(注) 予備施設・休止施設の区分を備考欄に明記すること。

ばい煙発生施設の構造及び使用の方法

工場・ 事業場 における 施設 番号	施設の種別 (形式)	施設の設置 年月日	規 模 (バーナー 及び原料 処理以外 のもの)	焼却設備の 燃焼能力 (定格・ℓ /h)	原料の処理 能力 (定格kg・/h)	使用する燃料・原料					換算 係数	重油に換算 した量 W (定格ℓ /h)	重油に換算 した量 Wi (定格ℓ /h)	通常の使用状況			備 考
						原・燃料 の種類	混 焼 割 合	発熱量	比 重	原料からの SOx量 (処理前) (Nm <sup>3</sup> /h)				1日当たり の使用 時間	1か年間の 使用日 数	季 節 変 動	
1	ボイラー (BO-1L)	H20. 4. 1	伝熱面積 15m <sup>2</sup>	120		A重油					1		0.12	8	250	無	
2	ボイラー (BO-1R)	H20. 4. 1		120		A重油					1		0.12	8	250	無	
3	乾燥炉	S48. 1. 20		640		灯油					0.9	0.576		8	250	無	
小 計				880								0.576	0.24				
合 計				880								0.576	0.24				
											$Q=2.11 \cdot W^{0.86}$						
											$Q=2.11 \cdot W^{0.86} + 0.5 \times 2.11 \cdot \{(W+Wi)^{0.86} - W^{0.86}\}$		1.54				

ばい煙に係る燃料・原料の種類及び使用量

工場・事業場における施設の番号	施設の種類	燃料の種類及び性状			燃料使用料 (ℓ /h)			原料の種類及び性状			原料の使用料			硫黄酸化物排出量 (Nm <sup>3</sup> /h)						備考
		種類	硫黄含有率 (%)	比重	定格	最大使用量及び(使用実績最大)	平均使用量	種類	硫黄含有率 (%)	定格	最大使用量及び(使用実績最大)	平均使用量	処 理 前			処 理 後				
													定格	最大及び(実績最大)	平均	定格	最大及び(実績最大)	平均		
1	ボイラー (B0-1L)	A重油	0.3	0.85	120	100	80							0.204	0.15	0.132	0.204	0.15	0.132	
2	ボイラー (B0-1R)	A重油	0.3	0.85	120	100	80							0.204	0.15	0.132	0.204	0.15	0.132	
3	乾燥炉	灯油	0.005	0.80	640	525	480							0.019	0.015	0.014	0.019	0.015	0.014	
小 計					880	725	640							0.427	0.315	0.278	0.427	0.315	0.278	
合 計					880	725	640							0.427	0.315	0.278	0.427	0.315	0.278	
工場・事業場全体の硫黄酸化物排出量 Q' (Nm <sup>3</sup> /h)															0.427					